



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9069 URL <https://www.senkogrouphd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 吉村 伸三 TEL 03-6862-8842
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	248,714	14.4	10,676	22.9	10,239	18.3	6,415	28.1
2026年3月期第1四半期	217,409	8.3	8,689	1.1	8,657	△1.7	5,010	△3.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 8,022百万円 (161.7%) 2026年3月期第1四半期 3,065百万円 (△57.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	38.30	38.16
2026年3月期第1四半期	29.33	29.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	817,130	267,088	28.3	1,378.16
2026年3月期	822,020	264,179	27.6	1,357.32

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 231,174百万円 2026年3月期 227,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	490,000	12.2	17,900	10.5	16,200	5.3	10,300	18.1	61.48
通期	1,020,000	13.4	43,000	16.2	39,300	11.5	23,400	21.1	139.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	175,692,457株	2026年3月期	175,692,457株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	7,951,807株	2026年3月期	8,273,852株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	167,507,292株	2026年3月期1Q	170,850,174株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与E S O P信託口の保有する当社株式 (2027年3月期1Q 777,229株、2026年3月期 777,229株) 及び役員報酬B I P信託口の保有する当社株式 (2027年3月期1Q 747,655株、2026年3月期 747,655株) を含めております。また、2023年3月期第4四半期連結会計期間より、期末自己株式には、従業員持株会支援信託E S O Pの保有する当社株式 (2027年3月期1Q 1,663,800株、2026年3月期 1,942,900株) を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは「人を育て、人々の生活を支援する企業グループ」として、物流事業を中心に、商事・貿易、ライフサポート、ビジネスサポート、プロダクトの各事業を展開し、それぞれが連携を図りながら、グループ総合力を活かした事業拡大に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日 以下「当第1四半期」）における当社グループを取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、中東情勢の影響や、継続的な物価上昇、金利上昇などによる企業の経済活動や個人消費への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当第1四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
営業収益	217,409	248,714	31,305	14.4%
営業利益	8,689	10,676	1,986	22.9%
経常利益	8,657	10,239	1,581	18.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,010	6,415	1,405	28.1%

継続的なコスト上昇や、人手不足の深刻化など、不安定な事業環境が継続しておりますが、拡販ならびに料金・価格改定などにグループ全体で取り組むと共に、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は対前年同期比313億5百万円増（+14.4%）の2,487億14百万円、営業利益は対前年同期比19億86百万円増（+22.9%）の106億76百万円、経常利益は対前年同期比15億81百万円増（+18.3%）の102億39百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年同期比14億5百万円増（+28.1%）の64億15百万円と営業収益、各段階利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

当第1四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(百万円)

対前年実績	営業収益			セグメント損益		
	当四半期	増減額	増減率	当四半期	増減額	増減率
物流事業	161,289	20,921	14.9%	9,667	1,700	21.3%
商事・貿易事業	51,654	6,539	14.5%	720	189	35.7%
ライフサポート事業	18,745	1,801	10.6%	885	78	9.8%
ビジネスサポート事業	4,811	975	25.4%	769	220	40.3%
プロダクト事業	12,107	1,062	9.6%	△53	110	—

(物流事業)

拡販ならびに価格改定に取り組むと共に、前期にM&Aでグループ入りした株式会社丸運などの収益寄与により、営業収益は対前年同期比209億21百万円増（+14.9%）の1,612億89百万円、セグメント利益は対前年同期比17億円増（+21.3%）の96億67百万円となりました。

(商事・貿易事業)

前期にM&Aでグループ入りした株式会社ベリテの収益寄与や、価格改定ならびに拡販に努めたことなどにより、営業収益は対前年同期比65億39百万円増（+14.5%）の516億54百万円、セグメント利益は対前年同期比1億89百万円増（+35.7%）の7億20百万

円となりました。

(ライフサポート事業)

前期にM&Aでグループ入りした株式会社クリーンスターの収益寄与ならびに、新規出店効果などによる利用者数・来店者数の増加影響などにより、営業収益は対前年同期比18億1百万円増(+10.6%)の187億45百万円、セグメント利益は対前年同期比78百万円増(+9.8%)の8億85百万円となりました。

(ビジネスサポート事業)

前期にM&Aでグループ入りした東宝総合警備保障株式会社の収益寄与や、拡販に努めたことなどにより、営業収益は対前年同期比9億75百万円増(+25.4%)の48億11百万円、セグメント利益は対前年同期比2億20百万円増(+40.3%)の7億69百万円となりました。

(プロダクト事業)

製品価格値上げ前の駆け込み需要による販売量の増加などにより、営業収益は対前年同期比10億62百万円増(+9.6%)の121億7百万円となりました。利益面については、53百万円のセグメント損失となりましたが、販売量の増加に加え、採算性の向上に努めたことで、前年同期から1億10百万円の改善となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期末における総資産は、8,171億30百万円となり、前期末に比べ48億89百万円減少いたしました。

流動資産は、2,648億19百万円となり、前期末に比べ46億10百万円減少いたしました。これは、受取手形、営業未収入金及び契約資産が52億63百万円、その他流動資産が12億97百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、5,522億39百万円となり、前期末に比べ2億73百万円減少いたしました。これは、有形固定資産が35億92百万円、無形固定資産が10億77百万円増加したものの、投資その他の資産が49億43百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期末における負債合計は、5,500億41百万円となり、前期末に比べ77億99百万円減少いたしました。

流動負債は、1,847億46百万円となり、前期末に比べ46億95百万円減少いたしました。これは、電子記録債務が10億83百万円、短期借入金が21億8百万円、その他流動負債が35億1百万円増加したものの、支払手形及び営業未払金が16億27百万円、未払法人税等が52億9百万円、賞与引当金が44億9百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、3,652億95百万円となり、前期末に比べ31億3百万円減少いたしました。これは、長期リース債務が11億85百万円増加したものの、繰延税金負債が40億18百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期末における純資産は、2,670億88百万円となり、前期末に比べ29億9百万円増加いたしました。これは、非支配株主持分が10億6百万円減少したものの、利益剰余金が21億43百万円、為替換算調整勘定が12億8百万円増加したことなどによるものです。自己資本比率は前期末から0.7ポイント上昇し、28.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年5月13日の「2026年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,046	94,674
受取手形、営業未収入金及び契約資産	122,775	117,512
商品及び製品	23,523	24,338
仕掛品	850	764
原材料及び貯蔵品	3,219	3,816
その他	25,115	23,818
貸倒引当金	△102	△105
流動資産合計	269,429	264,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	165,952	165,899
土地	152,788	152,379
その他（純額）	87,018	91,073
有形固定資産合計	405,759	409,352
無形固定資産		
のれん	22,374	22,008
その他	18,417	19,860
無形固定資産合計	40,791	41,868
投資その他の資産		
投資有価証券	33,821	34,122
退職給付に係る資産	28,141	28,376
差入保証金	23,341	23,432
繰延税金資産	8,240	1,965
その他	13,493	14,184
貸倒引当金	△1,076	△1,063
投資その他の資産合計	105,961	101,018
固定資産合計	552,513	552,239
繰延資産		
開業費	77	71
繰延資産合計	77	71
資産合計	822,020	817,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	64,347	62,719
電子記録債務	6,520	7,604
短期借入金	41,380	43,488
リース債務	10,934	11,262
未払法人税等	7,501	2,291
賞与引当金	10,305	5,896
その他の引当金	1,808	1,338
その他	46,644	50,145
流動負債合計	189,442	184,746
固定負債		
社債	85,000	85,000
長期借入金	206,459	205,657
リース債務	35,781	36,967
退職給付に係る負債	10,890	10,988
繰延税金負債	14,522	10,504
再評価に係る繰延税金負債	1,942	1,942
その他の引当金	2,108	2,148
その他	11,692	12,086
固定負債合計	368,398	365,295
負債合計	557,841	550,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,483	39,483
資本剰余金	40,545	40,822
利益剰余金	133,928	136,071
自己株式	△12,339	△11,986
株主資本合計	201,616	204,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,724	5,005
繰延ヘッジ損益	48	52
為替換算調整勘定	10,568	11,776
退職給付に係る調整累計額	10,282	9,948
その他の包括利益累計額合計	25,623	26,783
新株予約権	294	276
非支配株主持分	36,644	35,637
純資産合計	264,179	267,088
負債純資産合計	822,020	817,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益	217,409	248,714
営業原価	183,059	207,403
営業総利益	34,349	41,311
販売費及び一般管理費	25,659	30,634
営業利益	8,689	10,676
営業外収益		
受取利息	96	81
受取配当金	90	205
持分法による投資利益	101	63
受取地代家賃	142	131
その他	588	532
営業外収益合計	1,019	1,014
営業外費用		
支払利息	908	1,242
その他	143	209
営業外費用合計	1,051	1,452
経常利益	8,657	10,239
特別利益		
補助金収入	554	1,212
固定資産売却益	52	282
保険解約返戻金	108	-
その他	-	104
特別利益合計	715	1,599
特別損失		
固定資産圧縮損	555	1,212
固定資産除却損	49	-
その他	78	110
特別損失合計	682	1,323
税金等調整前四半期純利益	8,691	10,515
法人税、住民税及び事業税	1,702	1,398
法人税等調整額	1,809	2,226
法人税等合計	3,511	3,625
四半期純利益	5,179	6,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	169	474
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,010	6,415

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	5,179	6,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	379	265
繰延ヘッジ損益	7	10
為替換算調整勘定	△1,897	1,087
退職給付に係る調整額	△235	△321
持分法適用会社に対する持分相当額	△368	89
その他の包括利益合計	△2,113	1,132
四半期包括利益	3,065	8,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,271	7,575
非支配株主に係る四半期包括利益	△205	447

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として8年）で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間より費用処理年数を主として7年に変更しております。

この変更に伴い、従来、費用処理年数によった場合と比較し、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ63百万円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	7,811百万円	8,821百万円
のれんの償却額	675	735

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業 収益	140,368	45,114	16,944	3,835	11,044	217,307	101	217,409
セグメント間の 内部営業収益又は振替高	1,264	4,131	55	2,852	5	8,308	△8,308	—
計	141,632	49,246	16,999	6,687	11,050	225,616	△8,206	217,409
セグメント利益 又は損失(△)	7,966	530	806	549	△164	9,688	△999	8,689

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△999百万円は、セグメント間取引消去△67百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△931百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業 収益	161,289	51,654	18,745	4,811	12,107	248,608	106	248,714
セグメント間の 内部営業収益又は振替高	1,267	4,392	45	3,427	6	9,139	△9,139	—
計	162,557	56,047	18,790	8,238	12,114	257,748	△9,033	248,714
セグメント利益 又は損失(△)	9,667	720	885	769	△53	11,989	△1,313	10,676

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,313百万円は、セグメント間取引消去△32百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△1,280百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。